

















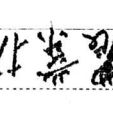
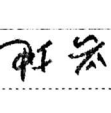
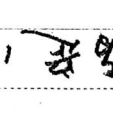
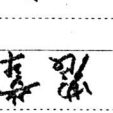
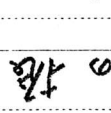
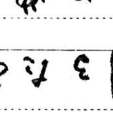
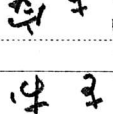
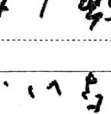
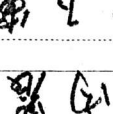
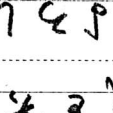
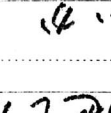
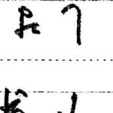
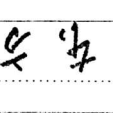
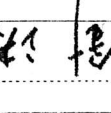
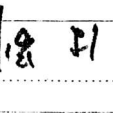
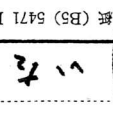
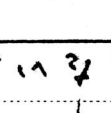
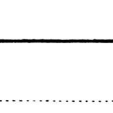


農業振興地域の指定について
 本市農業の振興を図るため、標記地域
 の指定をお願い。地域内農家は適合した指導
 と助成を実施したいので、下案による方針を決
 定して欲しいかお伺いします。
 与市の方針決定の上は別途、実施要領
 を発行いたします。

市長 		助 		役 	
主管局長 農政局長 		次長 農政局次長 		課長 農政課長 	
協議 農政局長 		農政局長 		農政課長 	
財政局長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	
農政課長 		農政課長 		農政課長 	

昭和42年 1月21日起案 昭和42年 5月25日決裁

昭和 年 月 日 発送
 文書 整理 番号

方針決裁

甲 乙 丙

案

農業振興地域、指定について

市内農業の現状は約 8,000 ha の農耕地と 5,000 ha の山林があり、12,000 戸の農家がこれらの土地に於て年額約 90 億円の生産を営んでいるが、市街市周辺に於ける都市化の進展に伴い、農地は蚕食され農業環境も次第に悪化し、農家の営農意欲も阻害されつつある。

一方人口の過密化により、農産物の需要の増加と市場条件の有利性を活用して今後共都市農業を存続し進展せしめたい。

したがって本市の農業振興を図るには、農家が将来共安心して農業に専念し、農民の社会的、経済的地位を向上出来るような施策を実施する必要があると考へらる。

4. 農地の交換割合を1対1とし、農地の

1: 貸与し生産性の向上を図る。

農業機械化による一歩の機械を優先的

2: 換業化、共同化方式をとり、

3. 企業の農業経営を実現するた

設置する。

望により観光農業として果樹園等を

2. 地理的条件の備わった地区は、第

経営をとり、

4. 植木、畜産等を選定し集約的の

品生産農業に移行させるため、蔬菜、花

1. 地域内の農業として、より高度な商

業を確立する。

施策の実施により近代的大都市農

望により、農業振興地域として指定し、次

農家が存在する地区等に、関係農家の希

農業構造改善地区、その他学農意欲の高い

5. 2 近郊農業経営改善地区 (1952年)

集団化を図ると共に、農地転用を極力防止し、土地基盤及び農業施設を整備する。

5. 農畜産物の流通生産、流通出荷を円滑化を図る。

6. 前各項の諸事業の実施に当つては、重点的補助を共にすると共に、農業近代化資金、本市預託金等を活用を図る。

7. 農業振興に必要の技術指導と援助を優先的に加ふる。